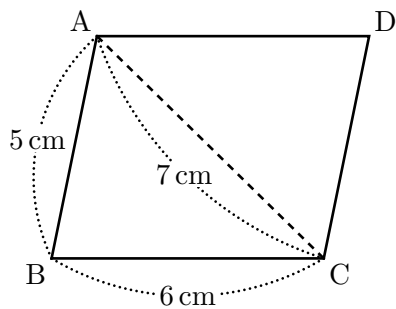


三角形の作図を 2 回使って、平行四辺形を作図しよう。

今までのサンプルの三角形の作図方法を組み合わせれば、平行四辺形は作図できます。ああそんなことしなくても、4 つの辺の点に分かってるからいいです。そういうことは、おいておきましょう。



```

\begin{pszahyou*} [ul=6mm] (-1,8) (-1,5)
\tenretu{B(0,0)sw;C(6,0)se}
\CandC%B{5}\C{7}\AA\A... ①
\Put%A[nw]{A}... ②
\CandC%A{6}\C{5}\DD\D... ③
\Put%D[ne]{D}... ④
\Takakkei{\A%B\C\D}... ⑤
\Hasen{\A\C}
\HenKo[*]<henkoH=3ex>\B\C{6\,cm}
\HenKo[*]<henkoH=3ex>\A%B{5\,cm}
\HenKo[*]<henkoH=3ex>\A\C{7\,cm}
\end{pszahyou*}

```

①, ②で $\triangle ABC$ を作図し、点 A を決定した後、③, ④で $\triangle ACD$ を作図し、点 D を決定し、⑤で平行四辺形を描いている。これが手順である。いろいろ方法があるかもしれないが、私的にはこれがしっくりくる。これがあれば、斜めになった長方形や正方形も作図可能である。これに関しては、作品で紹介する。